

福島での小児甲状腺がんの現状

下の表は、福島県民健康調査委員会(2018年6月30日)に報告された小児甲状腺がんまたはがんの疑いのある子供の人数です。
(<https://goo.gl/TMhWNs>)

福島県小児甲状腺がん検査まとめ(2018年6月30日現在)

甲状腺癌及び疑い								
202人								
1先行検査		2本格検査			3本格検査			
116人		71人			15人			
手術前	手術後		手術前	手術後		手術前	手術後	
	102人			52人			11人	
	乳頭癌	低分化癌		乳頭癌	低分化癌		乳頭癌	低分化癌
14人	100人	1人	19人	51人	0人	4人	11人	0人
	その他の癌	良性結節		その他の癌	良性結節		その他の癌	良性結節
	0人	1人		1人	0人		0人	0人

作成：福島原発事故の真実と放射能健康被害★

<https://www.sting-wl.com/fukushima-children18.html>

福島県の発表は甲状腺がんを、悪性…悪性とはがんのことですが『悪性ないし悪性の疑い』という言葉を使い、あたかも甲状腺ガンでない子ども達もこの中に含まれているように書くことで、焦点をぼかしチェルノブイリ原発事故との比較を困難にしています。しかし現状で手術を終えた165人の中で、良性結節だったのはたった1人にすぎず、162人が乳頭がん、1人低分化がん、1人がその他の甲状腺がんとの診断です。つまり手術を終えた165人中164人が小児甲状腺癌でした。

また、甲状腺がんの発症する男女比の問題です。2015年9月30日現在の小児甲状腺がんの発生は福島での男女比は152人の内、男子は54人、女子は98人ですが、国立ガンセンターによれば甲状腺がんの平均男女比は女子が3倍です。というのは、ホルモンの影響で女子の発症率が高いからです。しかし、福島の結果は男女比が1対1.81で性差が小さくなっています。これはチェルノブイリでの現象と似ています。

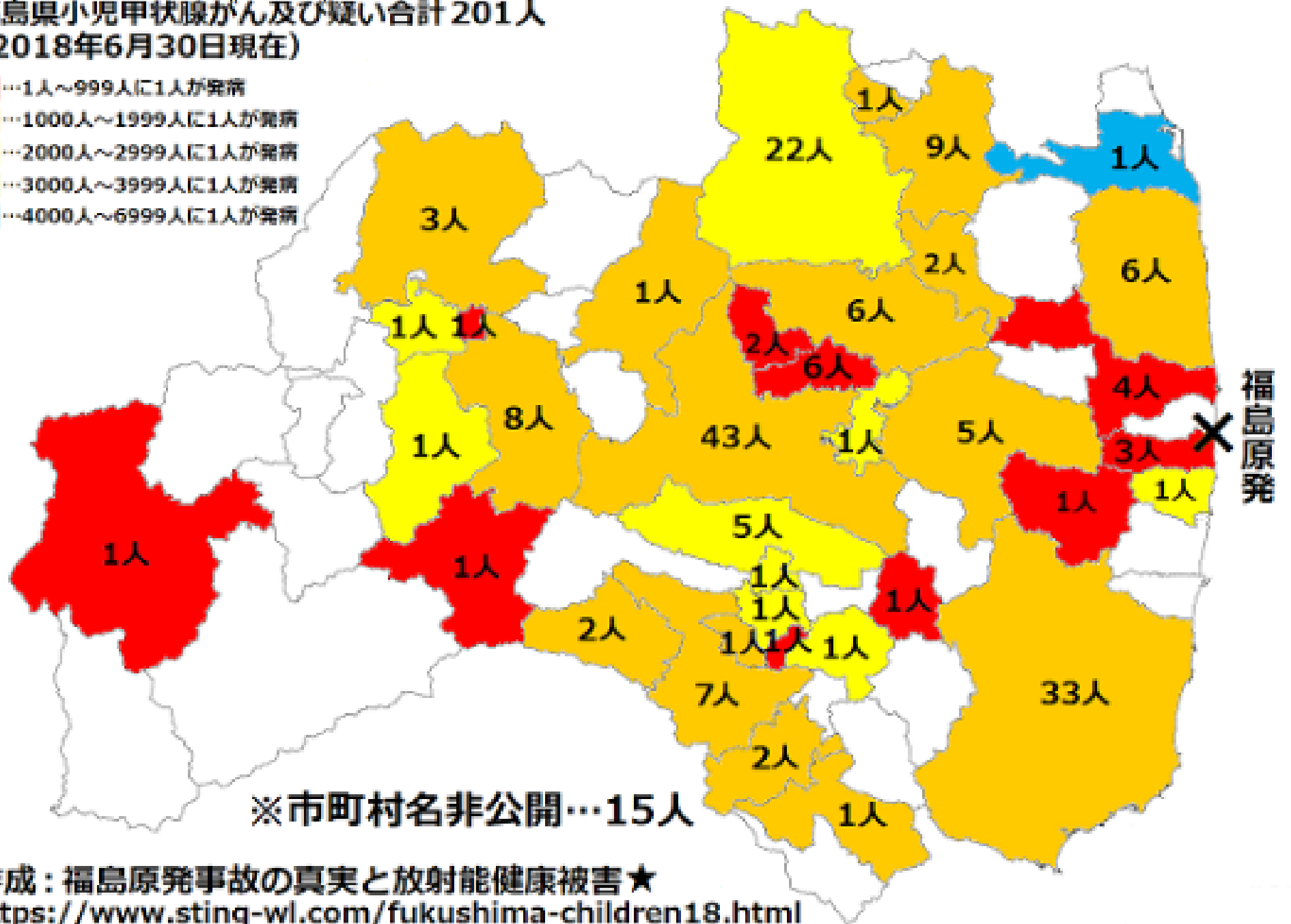
甲状腺がん 地域別の比較

福島の子甲状腺ガンを発病した子供達の市町村を地図化する

2018年9月5日に公表された最新の福島県民調査報告書によると、福島県の小児甲状腺がん及び疑いの子供達は、2か月半前…前回の198人から3人増えて合計201人になりました。※1※2

福島県小児甲状腺がん及び疑い合計 201人
(2018年6月30日現在)

- …1人～999人に1人が発病
- …1000人～1999人に1人が発病
- …2000人～2999人に1人が発病
- …3000人～3999人に1人が発病
- …4000人～6999人に1人が発病



2018年6月30日現在(<https://bit.ly/2oDAP9C>)
(2018年9月5日に公表された最新の福島県民調査報告書)

※1：手術で良性結節だったことが確定し甲状腺がんではなかった1人も元々は、この甲状腺がん及び疑いにカウントされていたので、この1人も数えれば甲状腺がん及び疑いは合計202人となる。